

## 令和元年度第1回北海道立旭川美術館協議会 議事録

★旭川美術館協議会は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、公募の委員で構成され、毎年度2回（通常は7月と2月）開催されます。美術館の活動について、館長に意見を述べることができる諮問機関です。委員の過半数の出席で成立します。

- 1 日 時 令和元年7月10日（水） 14:00～16:00
- 2 会 場 北海道立旭川美術館講堂
- 3 出席者数 協議会委員12名中8名出席 美術館職員7名（館長および正規職員）
- 4 出席委員 秋葉美香、大石朋生（副会長）、小野田倫久、鎌田優子、佐藤 保（会長）、新居由紀子、星秀隆、本間公浩（50音順敬称略）
- 5 議 事 (1) 平成30年度事業実施状況について  
(2) 平成30年度道立美術館評価について  
(3) 令和元年度（2019年度）事業運営計画について  
(4) その他（「アートギャラリー北海道」、「鑑賞学習支援ツール」等について）

### ◎議事録（抄）

議事に入る前に、委員紹介、美術館職員（転入者）紹介、館長挨拶を行い、その後、第1展示室「ブリティッシュ・オートマタ展」及び第2展示室「ニュー ストーリーズ」展を観覧。

観覧後、会長の司会進行により議事に入る。

### <議事についての意見等>

\* 事務局より平成30年度の展覧会等の実施状況、令和元年度の事業予定等を説明（展覧会、教育普及活動については映像でも紹介）するとともに、平成30年度の当館の美術館評価結果を報告。

事務局からの報告に対する意見や、美術館の役割に期待することや、今後このような取組をして欲しいというようなことについて意見等を頂く。

● 美術館評価について、少し評価が厳しいのではないかという印象を持った。例えば、観覧者数の指標値についてはどのように決めているのか。

【事務局回答】⇒ 過去3年間の平均を勘案して決めており、3年程度は同じ指標値を目標にしていきたいと考えている。

● 学校との連携に関し、出張アート教室で学校に来ていただける機会があれば、学校としても大変ありがたい。

- 私の住む町の方々は、旭川までの移動に1時間ぐらいかかるため、一般の方だけでなく、子どもたちもなかなか芸術作品を鑑賞する機会がない。将来的に、学校の先生がバスの中で授業を行いながら旭川まで移動をした後、美術館も観覧するというような事業を実施することも考えているので、子どもたちが観覧したいような作品展をぜひ行ってほしい。
- 第2展示室は、館内の奥側にあってスペースもあるので、学生や子どもたちが自分で描いた絵画を持って本物と対面するとか、作品の前で15分間クロッキーをするなど、美術館の中で活動するという取組をできるよう、施設や絵画の開放を考えても良いのではないだろうか。
- 子どもがいるお母さんから意見を聞いたところ、美術館には非常に行きたいとのことであったが、「子どもたちが騒いだら困るのではないか」というような心配ごとが先に出てきてしまい、なかなか足が運べないとのことであったので、「レディース・デー」や「こどもデー」などを設定し、平日に主婦と子どもと一緒に来館できる（来館しやすくなる）ような取組を試みたら良いのではないか。
- 美術館の展覧会は期間が長くやっていると思ってしまい、気がついたら閉会間際となっていることもあるかと思うので、毎週何か目玉となる事業を行うとか、毎週水曜日にはこういう事業があるとか、毎週末にはこういう事業があるというものがあると良いのではないか。
- 一般的な解説の横に、小学生向けの解説が書かれている美術館（道外）があった。これがすごくわかりやすかったので、そのような取組を試みても良いのではないか。
- 今回の展覧会は、大人も子どもも楽しめると思うので、親子で来ていただけたら良いかと思う。展覧会を観覧した後は、親子での会話も増えるかと思うので、たくさん周知してほしい。
- 新聞に大きな広告を出すのは、（コスト面から）難しいと思うので、地元情報誌などの主婦層向けのできるだけコストがかからないものに大きく載せてもらうのも一つの方法ではないか。周知の仕方は工夫した方がよい。
- 旭川市の博物館に行った際に、半券で旭川美術館などが割引になると記載しているものがあったので、いろいろな取組をしていることを確認させていただいたが、この割引で来館される方はどのくらいの人数でしょうか。

【事務局回答】⇒ 旭川市内の博物館や美術館と連携して実施している「旭川リンク・リンクミュージアム割引」の利用実績は、平成30年度で102件、平成29年度で64件、平成28年度で79件となっています。